



みのり

第89号

経営理念 私たちはみのりの精神である慈愛・奉仕・研究を基本精神とし地域・社会より愛され、認められる法人をめざし社会福祉事業の担い手として、地域・社会へ貢献します。

花のように“優しく 誠実に”

福祉社会での三つ星法人

社会福祉法人には、非課税制度や企業とのイコールフィッチング論等による優遇点がたくさんあります。したがって地域社会に対して、それ相応の社会貢献が求められてきましたが、ここにかけていよいよ厚労省は規制改革会議で社会貢献を義務づけることを表明致しました。理由は、護られた社会福祉法人に対しての規制緩和と同時に、第二種社会福祉事業や有料老人ホームに企業が参入できるようにして、増大し続ける高齢者予算を、非効率経営から効率的経営にして財源支出を抑制、かつ企業と同じレベル上での競争下に置き、優良会社(法人)の創出を諮っています。

ところが社会福祉法人にも種別や規模、歴史、そして地域性と違いのある法人が千差万別とあります。一法人一事業所の社会福祉法人から、戦後まもなく慈善事業として連綿と運営してきた法人、そしてここ最近では自由契約により経営母体も大きくなり、百億を超える程の収入、数千人の職員を抱える法人まであります。

要するに、社会福祉法人としての理念や使命感を持ち、非課税法人として得られた収益を、ただ単に内部留保するのではなく地域社会に還元。それらを情報公開しているのか? それさえもできてない法人が多い為、増加してきた社会福祉法人をスリム化して、安定した質の高い社会福祉法人を求めているのであります。

それを鑑みてみると、我が法人はいかに?

創設者が戦後まもなく創設した古い法人で現在二代目です。今でこそ土地は法人でも購入することが可能となり、経営も自由になってきました。当時は、土地に対しては、全く援助がなかったため、自助努力により取得してきました。建物に対しての補助金はわずかでした。したがってほとんどが創設者ご夫妻の給料や借金を、償還財源に充ててきたのが事実です。完成した建物も非常にお粗末なものでした。其の借金返済だけをとっても血の出るような御苦労でした。それを社会貢献(奉仕)といわず、なんというのでしょうか?

当時としては、社会福祉に対する価値観や制度そして補助金等は天と地の差であります。私見ではありますが、いまさら社会貢献とかいう言葉を持ち出すのはいかがかと感じます。企業等もCSRとしての社会貢献はあります。社会福祉法人の奉仕は、当然のことだと思っております。もし社会貢献の義務を言うのであれば、ホテルやレストランのように、三つ星というように社会福祉法人にも何らかのミシランの格付けがあってもいいさかもおかしくないのではと考えます。

理事長 大木 隆

89号掲載内容

- 巻頭言 1P
- 本部 2P
- ・嘱託医ご挨拶・新人職員の紹介 3P
- 高年齢福祉部 4P
- 杵築障がい福祉部 5P
- 日出障がい福祉部 6P
- 本部 7P
- 表彰 8P
- ・平成25年度 収支決算報告概要
- ・ボランティア・つつじ祭り

8P 7P 6P 5P 4P 3P 2P 1P



cafe えむほ

嘱託医ご挨拶



Dr 平尾 悦郎



私は今年4月から菩提樹の嘱託医を努めさせて頂いています。平尾悦郎と申します。出身は国東町で、高校まで国東で育ちました。当時は町内に信号機が1つしかないような田舎で、大学生の頃、大分

市内で運転免許を取るのに信号機が多く、その度に停車しないといけなく煩わしく、車線変更にも戸惑ったのを思い出します。大学は熊本大学に進学し、大学卒業後は開講したばかりの大分医科大学の外科教室に入局、以来大分県内の病院に勤めてきました。昨年4月から縁あって、日出町のサンライズ酒井病院に就職し、この度、酒井病院の酒井晃治副院長の後を継いで菩提樹の嘱託医を努めさせて頂く事になりました。故郷の国東への行き帰りの度に施設の前を通過しており、以前よりどのような施設なのかと関心を持っていました。今回当該施設を初めて訪問させて頂き、自然の中の広い敷地に建つ清潔で大きな建物に自然に抱かれるような悠然とした気分になりました。また職員の方々も優しく、礼儀正しく、心配りも素晴らしく、利用される方々もゆったりと安心して過ごされていると感じました。御高齢の方々には疾患的にもそれ以外にもいろいろな問題を抱えていると思います。至らぬ点が多いかと思いますが、御教授御指導いただき努力したいと考えていますので、今後とも宜しく御願い申し上げます。



新人職員の紹介

宜しくお願いします。



たつかわ かおり 立川 香織 第1みのり学園

出身地：由布市
趣味：料理、読書
利用者さんやご家族と信頼関係を築けるよう、先輩方にご指導して頂きながら、一歩ずつ進んでいきたいと思



むろ かなこ 室 加奈子 白百合園

出身地：国東市
趣味：計画を立てずに買い物をするこ



くろいし はるな 黒石 春奈 第2みのり学園

出身地：杵築市
趣味：音楽を聴くこと
みのり村の新しい職員として、学ぶこ



おの あゆみ 小野あゆみ 菩提樹

出身地：別府市
趣味：ぶち旅行
初めてのことで、皆さんにご迷惑をかけるかと思いますが、いつも笑顔で一生懸命にがんばります。



たくち みどり 田口みどり 菩提樹

出身地：杵築市
趣味：ピアノ、水泳、弓道、読書
一生懸命先輩方についていきたいで



ひがし えりこ 東 恵莉子 白萩園

出身地：豊後高田市
趣味：音楽、旅行
早く業務に慣れ、利用者さんの方々に頼っていただけるような支援員になりたいです。日々、精進していきたい



ふかた しょうた 深田 翔太 「風と樹々と空と」

出身地：竹田市
趣味：絵を描く事、折り紙
私の抱負は、仕事内容を理解し、利用者さんの話をしっかり聴けるようになり



たしろ ともこ 田代 朋子 白萩園

出身地：杵築市
趣味：音楽を聴く事、卓球
私は、常に利用者さんの方々の立場に立った支援を心がけていきたいと思



これひさま きこ 是久真貴子 白萩園

出身地：大分市
趣味：サッカー観戦
障がいを抱えた方々の支援方法や介護について沢山の知識を身に付け、みのり村の発展に尽力していきたいと思

デイサービス 「風と樹々と空と」 10周年

第10回目の開所記念式典がホールにて行われ、理事長による挨拶の後、御来賓の、野田区長 渡辺一彦様、老人クラブ会長の小野三樹夫様から、お祝いのご挨拶をいただき、利用者様を代表して、本多亀久次様がお祝いを述べました。



皆さんと記念写真「ありがとうございます」

式典の後は、「かぼすブリの解体ショー」です。手際よくさばかれた新鮮なお刺身は昼食で大好評でした。

余興で、デイサービス10年間のメモリアル(スライド)が映し出されると、周りの方々と懐かしんでいました。ステージではスタッフによるハーモニカ演奏の音色にウキウキと続いて中央保育園の園児による、踊り・劇があり、可愛らしい仕草に手拍子で満面の笑みを浮かべておりました。最後はみんなで「春がきた」等数曲を合唱し、楽しく式典を終えることができました。皆さんに感謝です、有難うございました。

今後は、リハビリを中心としたデイサービスに向けてスタッフ全員で取り組んでいきます。

配食サービス 見守り

生活支援サービスの中には、配食サービスがあり、「ほだいじゅ」も従来より実施してまいりましたが、この度本格的に杵築市より委託を受けて夕食(60〜70個程)の配達を始めました。「配食サービス」は、栄養バランスを考えた食事を、ご自宅にお届けするサービスです。高齢者は、ちょっとしたきっかけで容易に低栄養状態になり、免疫力が低下して、長期入院・入所に繋がります。そのような状態に陥らないように栄養バランスや味付けに配慮した配食サービスは、重要な役目を果たします。又、同時に見守りサービスも実施して安全対策に万全を期しております。

ほだいじゅ配食サービスは、「笑顔と栄養バランスを考えたお弁当」をお届けして、皆様の自立した生活をサポート致します。



暖かいご飯とお汁をお届けいたします

在宅介護 支援センター より

この度杵築市より高齢者実態把握事業を受託致しました。地域は旧杵築市街と八坂地区を担当いたします。御利用者の御自宅を一軒一軒廻って調査をして参ります。どうぞ宜しく、お願い致します。



中原社会福祉士 宜しくお願い致します

科学的介護の取り組みについて

施設サービス課では今年度、「介護」と、ケアマネジャー業務を含めた「相談」の双方に主任を据え、管理栄養士、生活相談員を配置し、組織を一新いたしました。中期目標に掲げている「科学的介護」に向けた取り組みは、根拠に基づく介護の実践を目指すもので、そのためには、看護職、介護職、Dr、機能訓練、相談職、食事担当などあらゆる職種の協働が必須です。認知症ケアに例をとって見ても、原因や症状からのアプローチ、生活歴から経過をたどる、適切な食事による周辺症状の軽減など、多方面からの検討により関わり方を決定します。職員が共通認識に立ち、足並みを揃えることで、ケアの質が向上、ご本人が落ち着いて安心した生活を送ることができると考えます。



施設サービス課
河合社会福祉士(左)と伊藤管理栄養士(右)

えむほガーデン オープン

25年以上にわたり法人で造られた焼き立てのパンや、四季の花苗や野菜の販売を行ってきた販売所「縁」の東側・法人の玄関口に、カレーやコーヒーなどを提供し、パンや加工品の販売を行う「cafe m・歩っ」を新設いたしました。

又、花や野菜の苗を生産し「縁」で販売する為のガラス温室や、四季の花々で彩る花壇に加え、駐車場を整備し「えむほガーデン」としてオープンすることができました。

「えむほ」は、工賃向上の働く場所としてだけでなく、地域の方々が集い、「ほっ」として頂ける「空間」を作り、障がいを持たれている方がこんな所で働いてみたいと思ってく頂けるような「えむほ」を造り上げていきたいと考えています。

「m・歩っ」の名前には沢山の思いが込められています。「m」には、みのり村の「m」、みんなの「m」、未来の「m」など、「歩」には、これまでの「歩み」、これからの「歩み」、「一歩」ずつ前進、などです。そして「ほっ」とできる空間など、まだまだ沢山あると思います。

これから、五年、十年と育む中で、一人ひとりが自分の「えむほ」を感じて、造り上げていただければと思っています。



「いらっしやいませ」スタッフ一同



えむほガーデン全景



店内

白萩園50周年を迎えて

白萩園は、昭和39年1月21日に開園しました。何もない林野を開墾し、今日に至るまでには如何ばかりかの苦難があったことを思わざるを得ません。

故名誉理事長先生の、「偲ぶ縁に」の中に、「尊い人の世を自分の事の中に生きる程、自分を粗末にしてはならぬ」とあります。人の生き方を問う言葉ですが、福祉には忘れてはいけない言葉でもあります。

みのり村には、このようにいくつもの教えがあります。その思想と実践を大切に継承しつつ、障害



記念撮影

者総 合支 援法 など
 法制度に沿った白萩園独自の新たな取り組みがこれから求められます。そのためには、スタッフが重要です。スタッフは、選ばれた「人材」であることを誇りに、自分の得意分野を仕事に生かしていきたいものです。また、そういう職場環境を作りたいと思います。
 最後に、先人への敬意と感謝を忘れずに、今出来ることに精一杯努め、次につながる人たちに糧をつないで行きたいと思えます。



白萩園開園 50 周年記念



児童発達支援センターの開設

児童デイサービスセンター「プリンちゃん」は新たにみのり学園児童発達支援センター「プリンちゃん」として事業を開始し、4月3日その発足式を執り行いました。

これまでの療育サービスを中心とした役割に加え、障がいを持たれたお子さんやその家族からの相談対応、地域の福祉サービスへの援助や助言、教育等各関係機関へのアドバイスや連携といった役割もこれからは担うこととなります。

「プリンちゃんに行けば何でも分かる」「安心して預けられる」と感じて貰えるようスタッフの専門性やスキルの上を図り、東部圏域における中核的な療育支援の場として、地域より認めて貰えるよう取り組んでいきたいと考えています。



児童の皆さんと一緒に記念撮影



大分合同新聞
平成26年4月22日

新築移転「GHしらゆり」

五月中旬「グループホームしらゆり」新築移転落成式並びに開所式が行われ、式には日出支援学校長、進路担当教諭の方がたの御臨席を賜りました。

GHしらゆりは、平成十四年十一月に、一戸建ての古民家を借り受け、改修し、大神小学校の隣りに開所しました。ここ数年、家屋の老朽化が進み、この度、日出支援学校の隣りに引っ越ししました。

建物は、太陽光を設置、更に、消防法の改正にさきかきスプリンクラーの設置、そのほかには、非常通報装置等々、入居者の方がたの、安心、安全な住まいの場として、万全の配慮がなされています。

今回、新たな入居者も増え、賑やかに開所の日を迎えることができました。

地域の中で働きながら、自分らしく生きる力を育むことが出来るように、バックアップ施設や、世話人は勿論のこと、関係機関との連携を図りながら、これからの地域生活が、より有意義なものとなるように、取り組んでいきたいと思っています。



GHしらゆり(左は日出支援学校、奥はGHさくら荘)



入居者を代表して深田さんが挨拶

みのりスマイル10周年

4月初め、みのりホールにてみのりスマイル10周年記念式が行われました。

みのりスマイルは平成16年4月通所授産施設として開所されました。20名の利用者さんで始まったスマイルも現在では40名の方が利用してくださり、地域の方に愛される事業所として成長してまいりました。式典では利用者を代表してお二人の方に挨拶をして頂き、これまでの10年間の思い出や、今後の決意を述べていただきました。

最後に10年を振り返ってのスライドも上映され、皆さんの楽しかった姿、頑張った姿が映し出されました。笑顔がたくさんあり、10年間の歩みが凝縮されており、楽しいひと時でした。

式典終了後にはこれからのみのりスマイルの発展を祈念しながら和やかな会食も行われました。

これまで、そしてこれからも制度は年々変わってまいります。安全安心な就労の場を地域の皆様に提供し、充実した生活が送れるようにサービスの提供を続けていくことに変わりはありません。

今後も地域の方に愛され必要とされる事業所を目指していききたいと思っています。



おめでとうございます



スマイルの皆さん

平成25年度高齢者雇用開発コンテスト入賞

平成25年度高齢者雇用開発フォーラム(厚生労働省 共催)で、「高齢者雇用開発コンテスト表彰式」が行われました。

当法人は高齢者が働きやすい制度の導入、体系的な教育訓練の実施、生涯現役で働ける職場の創出を進め、60歳以上の従業員が能力・経験を活かした職場作りを推進していることが高く評価されました。



第27回大分合同新聞福祉賞

大木理事長 受賞

平成25年度第27回大分合同新聞福祉賞の表彰式が11月14日、大分合同新聞社であり、障害者の社会参加や障害者スポーツの推進、児童養護、ボランティア活動など福祉分野で活躍する大木理事長他5人が表彰されました。長野健社長より賞状と新聞記事を取めた記念の盾を贈られ、「地域福祉の模範となる業績に敬意を表したい。これからは福祉向上のため、ますますのご活躍を」と祝福されました。受賞者を代表して、大木理事長が「昼夜を問わず活動してきたことを認めていただき感謝しています。これからは地域に貢献していきます」と表明しました。



長野社長より記念品を授与される大木理事長

平成25年度 東北震災被災地派遣感謝状受賞

大分県社会福祉法人経営者協議会より、東日本大震災被災地、福島県の施設に介護職員3名を3ヶ月間に亘り派遣した功績に対し表彰されました。



平成25年度 「大分県男女共同参画推進事業者顕彰」みのり村

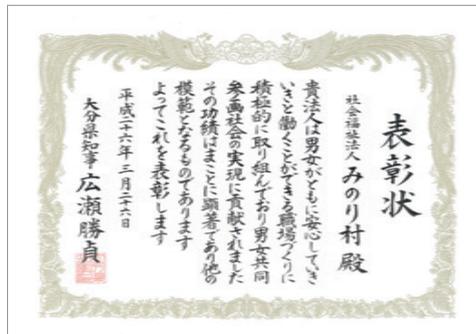
この度、平成25年度大分県男女共同参画推進事業者に当法人が選ばれました。大分県は男女共同参画社会づくりに関する県民と事業者の関心と意欲を高めるため、働く場における男女共同参画の推進に積極的に取り組まれている事業者を顕彰しています。

表彰理由

- 積極的な女性の登用
- 両立支援へ先進的な取組
- 安心して働ける職場づくり



広瀬知事「ありがとうございました」



平成25年度 収支決算

貸借対照表の要旨

事業活動計算書の要旨

資金収支計算書の要旨

貸借対照表の要旨		事業活動計算書の要旨		資金収支計算書の要旨			
科目	金額	科目	金額	科目	金額		
資産の部		活動サービス増減	サービス活動収益	1,478,665	事業活動による収支	事業活動収入	1,494,231
流動資産	908,101		サービス活動費用	1,222,060		事業活動支出	1,122,764
固定資産	3,921,298		サービス活動増減差額	256,605		事業活動資金収支差額	371,467
(基本財産)	1,999,967	活動サービス外増減	サービス活動外収益	15,566	施設整備等による収支	施設整備等収入	21,206
(その他の固定資産)	1,921,331		サービス活動外費用	918		施設整備等支出	111,604
資産の部合計	4,829,399		サービス活動外増減差額	14,648		施設整備等資金収支差額	△90,397
負債の部		経常増減差額		271,253	その他の活動による収支	その他の活動による収入	107,702
流動負債	92,474	特別増減	特別収益	125,126		その他の活動支出	800,260
固定負債	223,039		特別費用	103,920		その他の活動資金収支差額	△692,558
負債の部合計	315,513		特別増減差額	21,206	当期資金収支差額合計	△411,488	
純資産の部		当期活動増減差額		292,459	前期末支払資金残高	1,226,677	
基本金	544,867	増繰差額	前期繰越活動増減差額	2,109,848	当期末支払資金残高	815,189	
			当期末繰越活動増減差額	2,402,307	(H26.3.31現在 単位：千円)		
			基本金取崩	0			
			その他の積立金取崩	2,782			
			その他の積立金積立額	687,436			
次期繰越活動増減差額	1,717,653	次期繰越活動増減差額		1,717,653			
負債及び純資産の部合計	4,829,399						



新所属及び職名	氏名	旧所属
日出障がい福祉部 ・第1みのり学園施設長 ・児童発達支援センター管理者 兼 みのりスマイル管理者	佐藤 修	日出障がい福祉部 部長 第1みのり学園施設長
高齢者福祉部 在宅支援課 参事	中原 章 侷	高齢者福祉部 在宅支援課 所長
杵築障がい福祉部 白萩園兼ワークセンター 誠 副施設長	河野 節 二	白萩園 施設サービス課 課長
高齢者福祉部 施設サービス課 課長	榮木 たまみ	高齢者福祉部 施設サービス課 係長
高齢者福祉部 住宅支援課 課長	阿部 勢津子	高齢者福祉部 在宅支援課 係長
日出障がい福祉部 施設サービス児童課 係長	児島 喜代子	第1みのり学園主任
日出障がい福祉部 就労支援課 係長	古庄 せつ子	みのりスマイル主任
杵築障がい福祉部 施設サービス課 係長	原田 順子	白萩園 主任
杵築障がい福祉部 就労支援課 係長 (ワークセンター「誠」企画販売担当)	尾花 孝也	ワークセンター「誠」主任
白萩農園 代表	渡辺 良秋	みのりスマイル管理者

職員の動き
(管理者)

4/1付

所 属	氏 名	資 格 名
日出障がい福祉部 施設サービス児童課	河野 健 吾	介護福祉士
日出障がい福祉部 施設サービス児童課	粟 納 由 江	介護福祉士
日出障がい福祉部 施設サービス児童課	田 中 可 奈 子	介護福祉士
日出障がい福祉部 施設サービス児童課	大 谷 恵 子	介護福祉士
日出障がい福祉部 就労支援課	渡 辺 乃 基	介護福祉士
日出障がい福祉部 施設サービス成人課	新 庄 基 弘	介護職員初任者研修
杵築障がい福祉部 施設サービス成人課	真 砂 忠	介護職員初任者研修
高齢者福祉部 施設サービス課	河 野 育 枝	介護福祉士
高齢者福祉部 施設サービス課	森 松 真 央	介護福祉士
高齢者福祉部 在宅支援課	力 谷 満 里 子	介護福祉士
高齢者福祉部 施設サービス課	下 地 智 子	介護支援専門員
高齢者福祉部 総務課	安 藝 義 隆	介護職員初任者研修
本部総務企画課	目 代 真 司	介護職員初任者研修

平成25年度
資格取得者一覽

おめでとうございます

【総合福祉ケアサポートセンター みのり村】

障がい児から就労そして老後までの安心トータルサポート

- ユニット型特別養護老人ホーム 菩提樹
- ショートステイ事業
- 菩提樹デイサービスセンター「風と樹々と空と」
- ケアプランセンター ぼだいじゅ
- ホームヘルパーステーション ぼだいじゅ
- ぼだいじゅ配食サービス
- 在宅介護支援センター ぼだいじゅ
- えむほガーデン
- 白萩農園
- 障害児入所施設 第1みのり学園
- 児童発達支援センター「プリンちゃん」
- 障害者支援施設 第2みのり学園
- 障害者支援施設 白百合園(女性)
- 障害福祉サービス事業所 みのりスマイル
- みのり障がい者生活支援センター
- 障害者支援施設 白萩園
- 障害福祉サービス事業所 ワークセンター「誠」
- グループホーム みのり村
- しらはぎ障がい者生活支援センター
- みのり村介護・福祉タクシー

第31回 みのり村つつじ祭り

つつじが咲き誇る中「つつじ祭り」が開催されました。天候が心配ではありましたが好天に恵まれ、利用者様、保護者の方々、地域の方々等たくさんの方に参加していただき多くの来場者で賑わいました。開会式には、新市長の永松悟市長、そして富来議長にも来賓祝辞を頂きオープンとなりました。

毎年開催しているつつじ祭りですが年々内容が充実してきていると感じています。これも地域の方々やボランティア、保護者の方々のご理解とご協力があったことだと感じています。これからもみのり村伝統のつつじと法人と地域をつなぐつつじ祭りを大切に、語り継いでいきたいと思えます。



多数のご来場、ありがとうございました

ありがとうございました

ボランティア訪問

日出障がい福祉部

- あさぎり美容室 第1みのり学園 散髪ボランティア 2名
- 第1みのり学園退所者 第1みのり学園 支援ボランティア 1名
- 地域住民 みのりスマイル 支援ボランティア 1名

杵築障がい福祉部

- 別府溝部学園短期大学 ボランティア実習 4名
- 大分大学 別府大学 溝部学園 平松学園 杵築高校 日出総合高校 みのり村つつじ祭り 62名

高齢者福祉部 施設サービス課

- 中井千賀子氏 書き方教室 1名
- 杵築ボランティア芸能部 カラオケ・舞踊 15名
- 文化キャラバン 歌・楽器演奏 4名
- かがやきの会コンサート 楽器演奏 5名

高齢者福祉部 在宅支援課

- スマイル会(誕生会顧問:日出町) 個人ボランティア カラオケ、舞踊、他 8名
- 浜っ娘(誕生会顧問:杵築市加賀) 個人ボランティア カラオケ、舞踊、他 12名
- 民謡愛好会(誕生会顧問:杵築市) 個人ボランティア カラオケ、舞踊、他 6名
- 吉美会(誕生会顧問:杵築市) 個人ボランティア 踊り・歌他 6名
- 音楽ボランティア 個人ボランティア 2名
- 音楽(蓄音器) 2名
- 杵築中央保育園(誕生会顧問:杵築市) 個人ボランティア 踊り・歌他 35名

実習生・交流

日出障がい福祉部

- 西南学院大学 社会福祉学科3年 第1みのり学園 平成25年9月25日～10月25日 1名
- 長崎純心大学 児童保育学科3年 第1みのり学園 平成26年2月26日～3月7日 2名
- 東九州短期大学 幼児教育学科 第2みのり学園 平成26年3月17日～3月29日 2名

杵築障がい福祉部

- 別府溝部学園短期大学 白萩園 平成26年2月24日(月)～3月8日(土)10日間 5名
- 平成26年3月10日(月)～3月22日(土)10日間 4名

高齢者福祉部 施設サービス課

- シルバー人材センター 10月24日 3名
- 介護労働安定センター 11月6日・18日・27日 1名
- 12月4日・1月6日 2名
- 福祉人材センター 12月2日・3日 2名
- 杵築市社会福祉協議会 2月12日 3名
- 介護労働安定センター 3月2日 1名

高齢者福祉部 在宅支援課

- 杵築幼稚園 交流会 平成26年2月8日(土) 23名
- 江ノ井バス労働組合 交流会 平成26年2月8日(土) 6名

お知らせ

ホームページをリニューアルしました。

このたびホームページ(PC用・スマートフォン用)を13年ぶりにリニューアルいたしましたのでご案内申し上げます。

アドレス <http://www.minorimura.or.jp/>

【編集後記】

いつも本誌をお手にとっていただき、ありがとうございます。毎号作成にあたりまして記事、写真等を皆様より提供させて頂いて頂いていることに、感謝を申し上げます。皆様からお寄せ頂いた原稿・写真を紙上で上手くお伝えすることが私の役目だと思っております。幾度も校正した広報誌は「これがベスト」として印刷を依頼します。その気持ちは「喜ばれる広報誌になって帰って来いよ」と願うばかりです。広報誌に携わる毎に、報恩謝徳。 Abe

編集・発行／本部総務企画課

〒八七三-〇〇一三
 大分県杵築市大字日野一九二-一七
 TEL 〇九七八-六六一二〇〇
 FAX 〇九七八-六二二一九七
 URL <http://www.minorimura.or.jp/>
 E-mail info@minorimura.or.jp

(写真掲載等には、ご本人様の了解を得ております。)